

2025年3月期
(2024年4月1日～2025年3月31日)

決算参考資料

2025年5月13日



株式
会社

サガミホールディングス

東証プライム・名証プレミア上場 証券コード：9900

目次

1. 連結対象企業の事業内容	-3-
2. 店舗展開の状況	-5-
3. 2025年3月期 業績概況	-7-
4. 財政・キャッシュフローの概況	-8-
5. 連結業績ハイライト	-9-
6. 2025年3月期のトピックス	-12-
7. 2026年3月期について	-19-

連結対象企業の事業内容



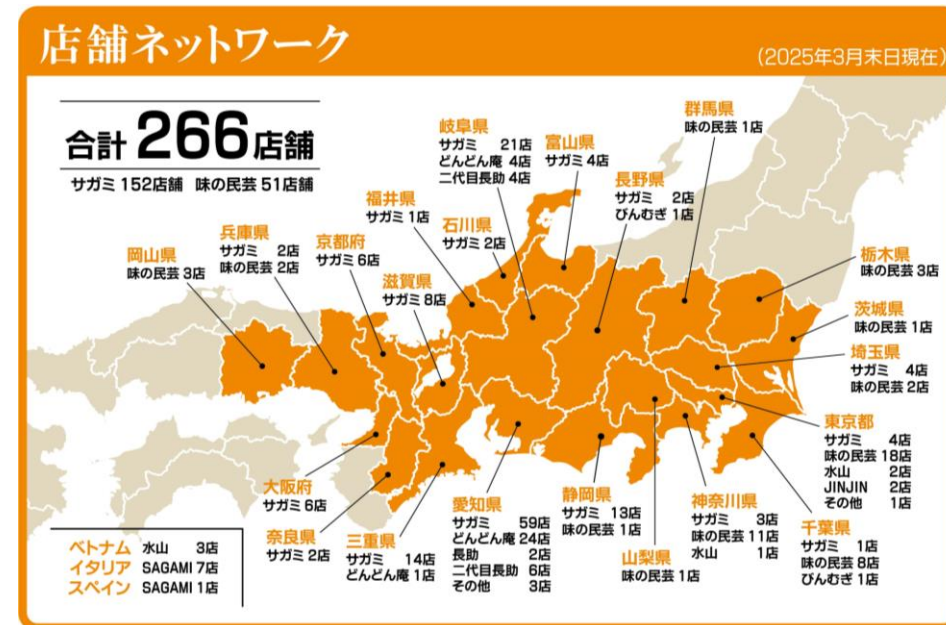
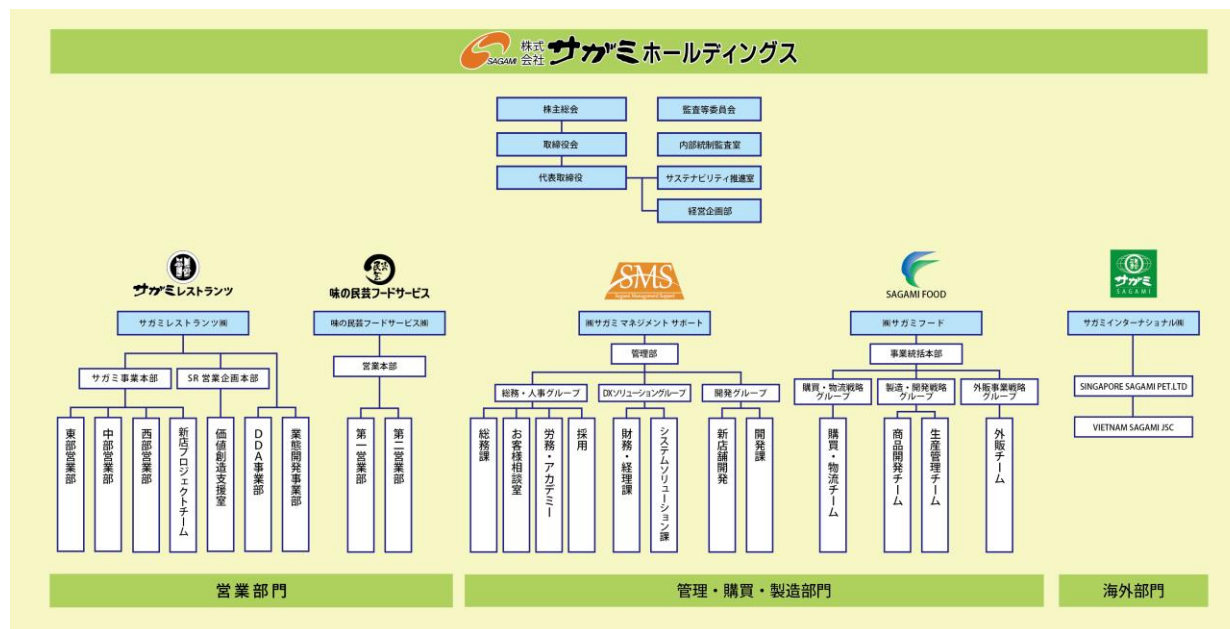
連結対象子会社一覧

名称	所在地	資本金又は 出資金	当社の 出資比率	事業の内容
サガミレストランツ株式会社	名古屋市	50,000,000円	100%	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
味の民芸フードサービス株式会社	名古屋市	50,000,000円	100%	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
株式会社サガミマネジメントサポート	名古屋市	10,000,000円	100%	グループの管理業務 店舗設備のメンテナンス業務
株式会社サガミフード	名古屋市	10,000,000円	100%	食材の仕入・製造業務 輸出入業務
サガミインターナショナル株式会社	名古屋市	10,000,000円	100%	海外事業の統轄
SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.	Singapore	5,750,000米ドル	100%	海外事業（ASEAN）の統轄
VIETNAM SAGAMI JSC	Vietnam	6,490,600,000ドン	100%	飲食店の経営

連結対象企業の事業内容



連結対象子会社一覧



- ◆ サガミレストランズ株式会社は、主に和食麺処サガミ業態、どんどん庵業態、長助業態、二代目長助業態を経営しております。
- ◆ 味の民芸フードサービス株式会社は、主に味の民芸業態を経営しております。
- ◆ 株式会社サガミマネジメントサポートは、主に管理業務を行っております。
- ◆ 株式会社サガミフードは、主に食材の仕入・製造を行っております。
- ◆ サガミインターナショナル株式会社は、主に海外事業展開の統轄を行っております。
- ◆ SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.は、ASEAN地域での事業（ベトナム）の統轄を行っております。

店舗展開の状況

	2024年 3月期	2025年3月期			2026年3月期（目標）		
	店舗数	出店	閉店	店舗数	出店	閉店	店舗数
和食麺処サガミ	139	13	-	152	12	-	164
味の民芸（FC店舗含む）	50	1	-	51	2	-	53
どんどん庵（FC店舗含む）	31	-	2	29	1	1	29
長助・二代目長助	8	5	1	12	3	2	13
その他国内店舗（FC店舗含む）	19	-	8	11	-	1	10
海外 ベトナム	3	-	-	3	-	-	3
海外 欧州（FC店舗）	6	2	-	8	-	-	8
合計	256	21	11	266	18	4	280

◆ 業態毎の店舗展開の詳細は次頁に記載しております。

店舗展開の状況

店舗展開

新規出店の状況

◆和食麺処サガミ業態

2024年 4月	愛知県	東浦店
	愛知県	岡崎大樹寺店
5月	愛知県	豊田錦店
6月	愛知県	港知多店
	三重県	川越店
7月	愛知県	天道店
8月	静岡県	焼津西小川店
10月	千葉県	野田横内店
11月	滋賀県	八日市店
12月	富山県	富山山室店
	大阪府	東大阪善根寺店
2025年3月	長野県	スワンガーデン安曇野店
	京都府	学研精華台店

◆海外欧州

2024年 4月	Bologna	SAGAMI Bologna Porta Lame店
8月	Madrid	SAGAMI Madrid Chueca店

◆味の民芸業態

2025年 3月	茨城県	守谷ふれあい通り店
----------	-----	-----------

◆長助業態

2024年 6月	岐阜県	岐阜北方店
9月	愛知県	岡崎美合店
10月	愛知県	稲沢おりづ店
11月	岐阜県	大垣店
2025年1月	岐阜県	岐阜本巢店



●和食麺処サガミ 学研精華台店



●和食麺処サガミ スワンガーデン安曇野店



●味の民芸 守谷ふれあい通り店



●和食麺処サガミ 野田横内店



●十割そば二代目長助 岐阜本巢店

当期末のグループ店舗数は、国内255店舗、海外11店舗の計266店舗であります。

2025年3月期 業績概況



連結ベースの経営成績

(単位：百万円)

	2024年3月期	業績予想 (2024.11.5発表)	2025年3月期	前期差異	計画差異
売上高	31,006	34,000	35,034	4,028	1,034
営業利益	1,656	2,050	2,058	402	8
経常利益	1,722	2,100	2,134	412	34
当期純利益	909	1,350	1,356	447	6
一株当たり 当期純利益 (円)	30.14	44.72	44.93	14.79	0.21

財務・キャッシュフローの概況

連結財政状態

単位 (百万円／%)	2024年3月期	2025年3月期
総資産	24,943	25,297
純資産	16,815	17,824
自己資本比率	67.4	70.4

連結キャッシュフローの状況

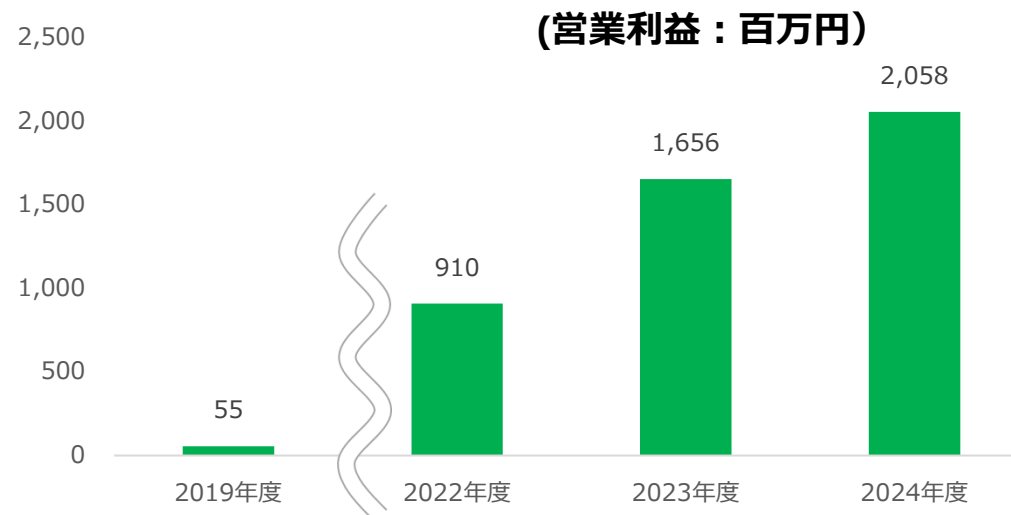
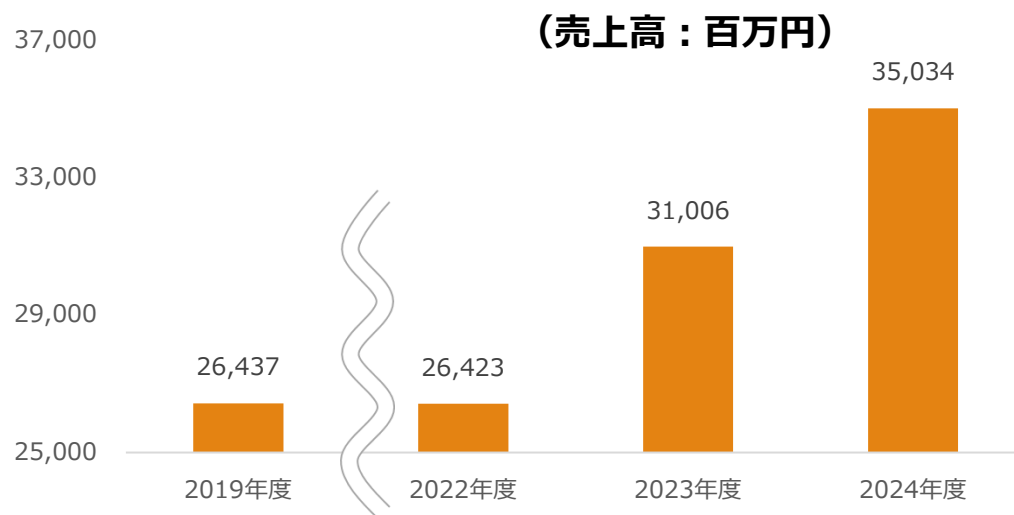
単位 (百万円)	2024年3月期	2025年3月期
営業活動によるキャッシュフロー	2,458	2,219
投資活動によるキャッシュフロー	△3,828	△2,669
財務活動によるキャッシュフロー	△1,347	△1,231

- ◆ 設備投資について
連結設備投資は2,735百万円（2024年3月期実績1,876百万円）となりました。
- ◆ 減価償却費について
減価償却費は739百万円（2024年3月期実績529百万円）となりました。

連結業績ハイライト



売上高・営業利益の推移

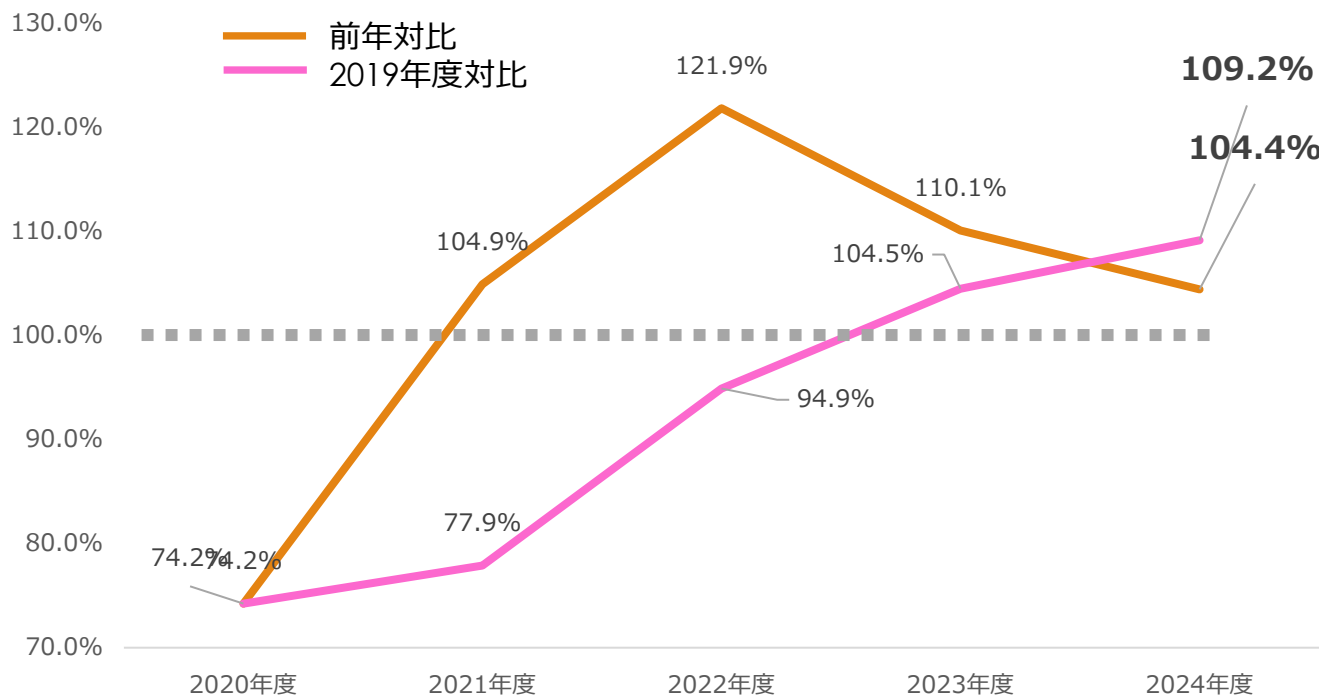


	2019年度	2022年度	2023年度	2024年度
売上高	26,437	26,423	31,006	35,034
営業利益	55	910	1,656	2,058
経常利益	60	1,574	1,722	2,134
当期純利益	△1,365	886	909	1,356
	コロナ前	コロナ後		

◆ 売上高35,034百万円、当期純利益1,356百万円は、創業以来最高実績 【※自社保有データ参照】

客数の推移

和食麺処サガミ客数推移 ※既存店集計



2023年度対比

104.4%

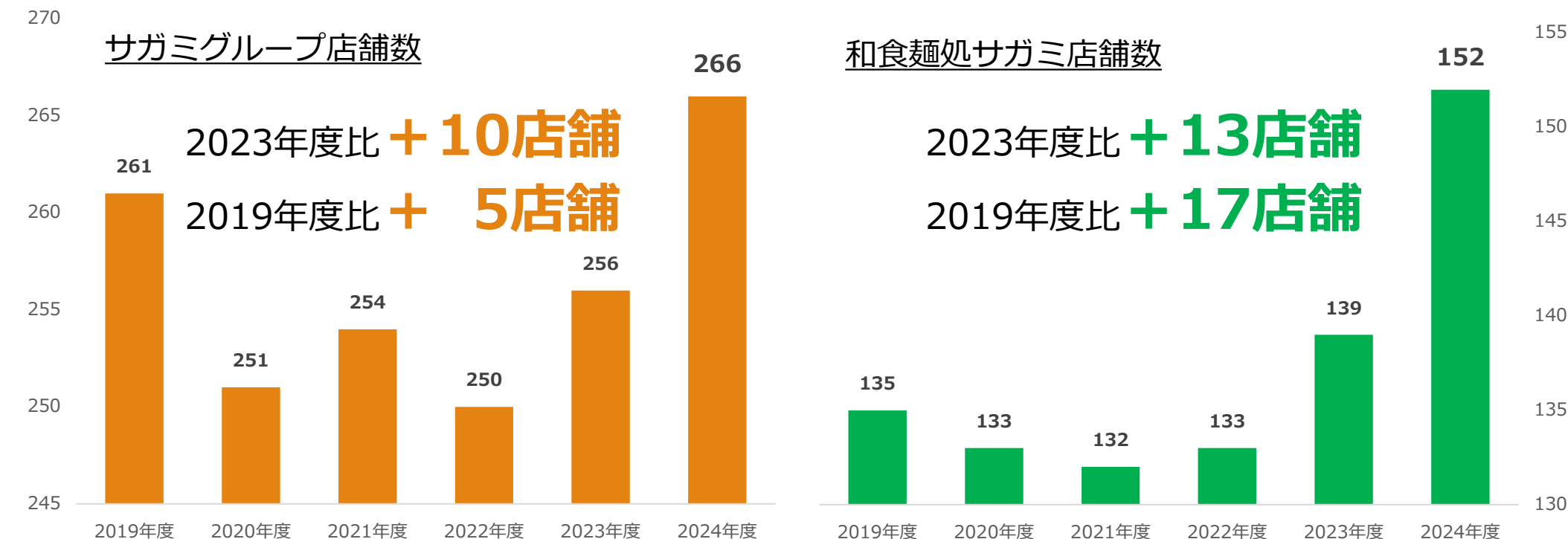
2019年度対比

109.2%

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
客数前年対比	100.0%	74.2%	104.9%	121.9%	110.1%	104.4%
客数2019年度対比 (コロナ前比)	100.0%	74.2%	77.9%	94.9%	104.5%	109.2%
	コロナ前	コロナ影響下			コロナ後	

店舗数の推移

和食麺処サガミ店舗数推移



	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
サガミグループ全店	261	251	254	250	256	266
和食麺処サガミ	135	133	132	133	139	152

コロナ前

コロナ影響下

コロナ後

2025年3月期のトピックス①

サガミホールディングス

◆ ゆたかさを感じられる職場づくりの推進

当社は人財が最大の経営資源であると考え、「物心両面のゆたかさ」によるお客様への提供価値向上を目指しております。多様な人材の確保、及び従業員の生活水準の向上を目的とした従業員還元の一環として、様々な施策を行っております。

余暇

- ・ 繁忙期期間、年間4日間のグループ全店一斉休業日設定
- ・ 4日以上連続休暇（リフレッシュ休暇）を年に3回以上取得可能とする制度

報酬

- ・ 業績貢献に対する特別賞与の支給
※2025年3月期の年間賞与は過去最高の4.9カ月
- ・ 基本給、各種手当の増額を含む給与制度の見直し

教育

- ・ 次期管理職の育成に向けたキャリア研修・階層別研修や、女性社員を対象としたリーダーシップ研修などの実施

◆ サステナビリティ活動

TCFDに準拠した情報開示

持続的な企業価値向上を実現していく上で、気候変動がもたらすリスクを重要な経営課題と捉え、有価証券報告書にて、TCFD提言に準拠した定量情報を開示いたしました。

CDP気候変動質問書への回答実施

企業の気候変動に対する取り組みとその結果について、積極的に情報開示を行う目的で、CDP気候変動質問書への回答を実施いたしました。

2025年3月期のトピックス②

サガミホールディングス

- ◆ 統合報告書の発行
当社グループの企業活動の全体像、企業価値創造に向けた戦略や目標を総合的に紹介し、理解をより一層深めていただくことを目的として、8月に統合報告書を発行いたしました。
- ◆ 株主還元
当社の持続的な成長と収益基盤の強化、株主の皆様への利益還元を目的として、1株当たり普通配当を10円とさせていただきます。なお、本件に関しましては、2025年6月下旬開催予定の定時株主総会に付議する予定であります。株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策として、業績や今後の事業展開、及び内部留保の状況等を総合的に勘案しながら安定配当を行うことを基本方針としております。



※配当金推移 単位：円

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
普通配当	-	-	5	5	8	10
特別配当	-	-	-	2	2	-

2025年3月期のトピックス③

サガミレストランツ（サガミ事業本部）

サガミ業態について

◆ 季節フェアの開催

「おいしい“ね”があふれる時間を」をテーマに期間中、「真あなご料理」「本まぐろ料理」「牛タン料理」「北海道と北のめぐみ料理」「広島産大粒牡蠣料理」「寒ぶり料理」「宮崎牛と国産牛もつ料理」の計7回、料理フェアを開催いたしました。

お客様にご好評いただいている季節に合わせた料理フェアを、今後も定期的に行い、サガミのおいしさを皆様へ届けて参ります。

◆ 新たな地域への出店

2024年10月、千葉県野田市に「和食麺処サガミ野田横内店」をオープン。千葉県への出店は、サガミ業態として初めてとなり、関東圏での認知度向上を図るとともに、地域密着型の店舗として、地元のお客様に愛される店づくりを進めております。また、2024年3月に進出した長野県において、県内2店舗目となる「和食麺処サガミ スワンガーデン安曇野店」を2025年3月に開店いたしました。

◆ 特別な日（ハレの日）のおもてなし実施

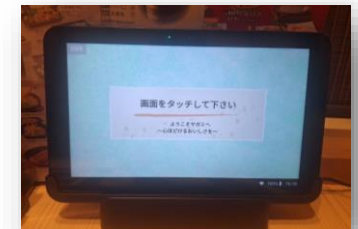
「お食い初め（百日祝い）」、「一升米（一歳祝いセット）」に続いて、還暦・古稀・喜寿などのお祝い用メニュー「長寿御膳」を全店舗で販売開始いたしました。人生の節目となるイベントでの会食の機会に、和食麺処サガミでのお食事とおもてなしを楽しんでいただける食事プランをご提案しております。ご家族揃ってのご来店を心よりお待ちしております。



2025年3月期のトピックス④

■ サガミレストランツ（サガミ事業本部）

- ◆ 公式アンバサダーの起用
和食麺処サガミのブランド認知度向上と訴求力強化を目的として、タレントの須田亜香里さんを初代アンバサダーに起用しました。この施策では、CM起用・折り込みチラシへの掲載・公式HPに専用ページ開設など多岐にわたるプロモーションを実施。彼女の魅力である明るさと元気、そして親しみやすさでサガミの魅力を発信してまいります。
- ◆ 地域とのコラボレーション
8月28日～9月末まで、名古屋市内の19店舗で、飛騨特産食材を使用した期間限定の特別メニュー「飛騨の恵み DE なごやめしフェア」を開催いたしました。
- ◆ IT化・DX促進の取り組み
タブレット型セルフオーダーシステム導入拡充を進めております。
2025年3月末時点で約6割の店舗で導入しており、2025年5月期に全店舗導入予定となっております。本システムの導入は、注文受付以外の顧客接点であるお出迎えやお見送りを含む「おもてなし」に注力することを目的としており、よりお客様に寄り添ったサービス提供を実現することを目指しております。



● タブレット型セルフオーダーシステム

2025年3月期のトピックス⑤

サガミレストランツ（DDA事業部/業態開発事業部）

どんどん庵業態について

- ◆ 「自分好みを手軽に美味しく」をモットーに、うどん・そば・きしめんなどの各種麺類を取り揃えております。
自社製麺の強みを活かし、高品質な商品をコストを抑えて提供することができ、多くのお客様にご好評をいただいております。
- ◆ 販売促進企画として、4月、10月、1月に「GO!どんどん庵キャンペーン」を実施いたしました。



長助業態について

- ◆ 5店舗の新規出店により、期末での店舗数は12店舗となりました。
（十割そば二代目長助：10店舗 かき揚げ十割そば長助：2店舗）
- ◆ 十割そば二代目長助では、販売促進企画として、「新生活応援企画」（4月）、
「新メニュー紹介企画」（6月）、「大暑の大感謝祭」（7月）、
「お客様感謝企画」（9月）、「秋の大感謝祭」（11月）、
「桃月の大感謝祭」（3月）を実施いたしました。



2025年3月期のトピックス⑥

味の民芸フードサービス

味の民芸業態について

- ◆ 「真あなご料理フェア」「本まぐろ料理フェア」「牛タン料理フェア」「北海道と北のめぐみ料理フェア」「名古屋めし料理フェア」「広島産牡蠣料理フェア」「真ふぐ料理フェア」「愛媛県産真鯛料理フェア」の計8回、料理フェアを開催いたしました。お客様にご好評いただいている、季節に合わせた料理フェアを、今後も定期的を開催し、味の民芸のおいしさを皆様へ届けて参ります。
- ◆ 茨城県守谷市に、「味の民芸守谷ふれあい通り店」を出店いたしました。味の民芸業態としては、2019年3月以来、6年ぶりの出店となります。今後も関東圏を中心にマーケット拡大を図って参ります。
- ◆ IT化・DX促進による省人化に向けた取り組みとして、EPARK待合システム導入店舗を拡充し、お客様の店舗利用の利便性向上を図りました。また、業務用小型清掃ロボットを一部店舗で導入し、業務効率向上と省人化を図っております。

小型業態について

- ◆ 「ぶぶか吉祥寺北口店」と「JINJIN新宿二丁目店」では、クレジットカード、QR決済、及び外国語に対応するなど、インバウンド顧客への利便性向上を目的として、券売機が多言語対応をいたしました。



2025年3月期のトピックス⑦

サガミインターナショナル

欧州事業について

- ◆ 「ハロウィン」「クリスマス」といった現地で馴染みのある季節行事に加え、「節分」「桃の節句」といった日本固有の季節行事を取り上げたフェアなど、日本の文化を模擬体験できるイベントを実施いたしました。引き続き、和食文化を欧州のお客様へ届けられるよう、取り組みを継続してまいります。
- ◆ 欧州へ出店する店舗については全店、現地パートナー企業による、フランチャイズでの展開となっており、今後も北イタリア地域を中心に出店を検討してまいります。

ベトナム事業について

- ◆ ベトナムでは「水山」業態を3店舗展開し、現地の中間所得層を中心に多くのお客様にご来店いただいております。
- ◆ 出店立地の顧客特性に合わせ、現地在住日本人向けの「とんかつ」やローカル向けの「鍋メニュー」など、店舗ごとに異なるメニューを用意し、幅広い所得層のお客様にご利用いただいております。また、年越し蕎麦の販売などを行い、店舗での体験を通じ、日本文化を知っていただく取り組みを行いました。



2026年3月期について

■ 連結ベースの業績予想

単位 (百万円)	2025年3月期	2026年3月期	差額
売上高	35,034	37,000	1,966
営業利益	2,058	2,250	192
経常利益	2,134	2,300	166
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,356	1,250	△106
※参考 税金等調整前当期純利益	1,712	2,000	288

■ 2026年3月期について

- ◆ 売上高
2025年3月期においては、各企業の賃上げによる所得の改善を背景に経済環境は、緩やかに回復いたしました。
一方、世界経済後退の懸念要素もあることから、2026年3月期の客数は、前年同等を見込んでおります。
なお、新規出店や商品政策によるプラス効果を考慮し、2026年3月期の売上高について、前期比増収を見込んでおります。
- ◆ 営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益
食材の仕入れ価格や人件費、水光熱費、物流費などのコスト増により厳しい経営環境が続くことが予測されますが、粗利益率の改善、及び生産性の向上により、営業利益、経常利益については、前期比増益を見込んでおります。
また、親会社株主に帰属する当期純利益に関しては、欠損金解消に伴う法人税等の増加を見込んでおります。

ディスクロージャーポリシー (Disclosure Policy)



(1) 基本方針

サガミグループは、『私たちは、「食」と「職」の楽しさを創造し、地域社会に貢献します～すべては みんなのゆたかさと笑顔のために～』という経営理念のもと、すべてのステークホルダーに対し、透明性、公平性、継続性を基本に証券取引法及び上場取引所の定める法令・規則を遵守し、タイムリーな情報提供に努めます。

(2) 情報開示の方法

東京証券取引所が定める適時開示規則に該当する情報の開示は、同取引所へ事前説明後、同取引所の提供する適時開示情報伝達システム（TDnet : Timely Disclosure network）に登録し提供しています。

TDnet 公開後、すみやかに報道機関に同一情報を提供するとともに、当社ホームページへも掲載いたします。

ただしシステムの都合上、これら情報の当社ホームページへの掲載が遅れる場合がございます。

また、適時開示規則に該当しないその他の情報につきましても、適時開示の趣旨を踏まえて適切な方法により正確かつ公平に開示する方針です。

(3) 業績予想および将来の見通しについて

サガミグループの計画・将来の見通し・戦略などのうち、過去または現在の実績に関する以外は、将来の業績に関する計画や見通しであり、これらは現時点で入手可能な情報による判断に基づいております。

したがって、将来の業績等につきましては、様々なリスクや不確定要素の変動および経済情勢の変化などにより異なる場合があります。

(4) 沈黙期間について

サガミグループは決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、四半期ごとの決算期末日の翌日から当該決算発表までの期間を「沈黙期間」としております。

この期間は、決算に関する質問への回答やコメントを控えることとしております。ただし、この沈黙期間中に業績予想を大きく変動する見込みが発生した場合には、開示規則に従い適宜公表いたします。

なお、沈黙期間であっても、すでに公表されている情報に関する範囲のご質問等につきましては対応いたします。

(5) ディスクロージャー ポリシーの遵守

サガミグループは、「企業の社会的責任（CSR）」の観点からもグループの役職員全員に上記のディスクロージャーポリシーを周知徹底し遵守いたします。